町田市文化財年報

2025 年度

町田市教育委員会

例　　言

1.本書は 2025 年度、町田市内で行われた文化財事業の概要を記したものである。

2.本書の作成は町田市教育委員会生涯学習部生涯学習総務課が編集・執筆を担当した。

目次

Ⅰ. 文化財保護審議会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
1. 文化財保護審議会委員名簿
2. 開催状況
3. 主な審議内容

Ⅱ. 文化財保護普及事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
1. 町田市立自由民権資料館
(1) 概要
(2) パネル展「まちれき×まちだコドマチ条例」
(3) 企画展「町田とお殿さま―江戸時代の領民と領主―」
(4) まちだ歴史講座「まち歴」
2. 町田市考古資料室
(1) 概要
(2) イベント
3. 三輪の森ビジターセンター内郷土資料室
4. 町田デジタルミュージアム
5. 文化財の普及・活用
(1) まちだ縄文キャラクター「まっくう」
(2) 鶴川香山園アウトリーチ展示
(3) パネル展「成瀬を見守る天狗型道祖神―地域の歴史を未来へつなぐ文化財」
(4) 東京文化財ウィーク 2025
(5) 「手仕事の技　小野路のメカイ作り再発見」展
(6) 文化財防火デー
(7) 町田市×相模原市「まちの歴史、さがしてみました～まちさが考古学講座～vol.2」
(8) 「Future Park Lab（フューチャーパークラボ）2026 Spring」出展
(9) 学習動画「縄文のまちだ～町田の遺跡を見てみよう～」公開
6. 出張歴史授業
7. 講師等の派遣
8. 出版物の刊行
9. 資料調査対応
10. 資料の貸出
11. 資料の写真掲載等
12. 取材・メディア撮影等
13. 学校資料の整理・移管

Ⅲ. 古民家保存事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
1. 国指定重要文化財　旧永井家住宅耐震診断

Ⅳ. 埋蔵文化財保存事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
1. 試掘調査
(1) 木曽森野、木曽森野南、森野 6 丁目遺跡（町田市№617 遺跡）
(2) 町田市№482 遺跡
(3) 町田市№970 遺跡
(4) 相原清水寺東遺跡（町田市№42 遺跡）
(5) 相原清水寺東遺跡（町田市№42 遺跡）

Ⅰ．文化財保護審議会

町田市文化財保護審議会は町田市文化財保護条例第 48 条により設置され、教育委員会の諮問に応じて文化財の保存及び活用などについて調査、審議し、教育委員会に建議するものとされている。委員は 10 名以内で構成され、教育委員会が委嘱する。委員の任期は 2 年間で、第 32 期委員の任期は 2023 年 6 月 1 日から 2025 年 5 月 31 日まで、第 33 期委員の任期は 2025 年 6 月 1 日から 2027 年 5 月 31 日までとなる。

2025 年度は下記の委員によって、文化財に関する審議を行った。

1.文化財保護審議会委員名簿

第 32 期（任期　2023 年 6 月 1 日～2025 年 5 月 31 日）

氏　　名	現　　職　　等	担 当 分 野
◎浜田　弘明	桜美林大学教授	博物館学・人文地理学
○八木橋　伸浩	玉川大学名誉教授	民俗学・文化史
阿諏訪　青美	横浜市歴史博物館学芸員	日本中世史
石居　人也	一橋大学大学院教授	日本近現代史
内野　秀重	東京都立大学牧野標本館特任研究員	自然誌
大野　敏	横浜国立大学教授	建築史
須田　英一	法政大学講師	考古学

第 33 期（任期　2025 年 6 月 1 日～）

氏　　名	現　　職　　等	担 当 分 野
◎浜田　弘明	桜美林大学教授	博物館学・人文地理学
○八木橋　伸浩	玉川大学名誉教授	民俗学・文化史
青柳　由佳	東京家政学院大学准教授	建築構法・構法史
阿諏訪　青美	横浜市歴史博物館学芸員	日本中世史
石居　人也	一橋大学大学院教授	日本近現代史
須田　英一	法政大学講師	考古学
仙仁　径	パルテノン多摩学芸員	植物学

※◎は会長、○は副会長

2.開催状況

第 32 期

第 8 回会議　　2025 年 5 月 20 日

第 33 期

第 1 回会議　　2025 年 8 月 8 日

第 2 回会議　　2025 年 11 月 6 日

第 3 回会議　　2026 年 2 月 18 日

3.主な審議内容

・文化財の指定又は登録について

Ⅱ．文化財保護普及事業

1. 町田市立自由民権資料館（愛称「まちれき」）

(1) 概要

月曜日（祝日の場合は開館、翌日休館）、年末年始以外は開館している。

「自由民権運動と町田」、「町田の歴史―時代でたどる人びとのくらし―」の 2 種類の常設展示を行っている。夏にパネル展「まちれき×まちだコドマチ条例」を開催、秋には企画展「町田とお殿さま―江戸時代の領民と領主―」を開催し、展示ガイドブックを刊行した。企画展終了後にはガイドブックと、展示内容をデジタル展示としてホームページに公開した。

講座事業では、古文書講座、企画展関連の講演会をふくめ、まちだ歴史講座（通称「まち歴」）を 20 回開催した。

年間開館日数は 295 日、来館者数は 5,392 人であった。

(2) パネル展「まちれき×まちだコドマチ条例（ルール）」

なつやすみキッズプログラムの一つとして、子ども生活部子ども総務課の協力を得て、「町田市子どもにやさしいまち条例（まちだコドマチ条例）」を紹介するパネル展を行った。「まちだコドマチ条例」は、子どもの権利を明らかにし、大人たちはそれぞれの立場で守り支えあうことで、すべての子どもにやさしいまちの実現を目指すためのルールである。「まちだコドマチ条例」と「自由民権運動」に関心を持ってもらうためのワークシートを設置した。

開催期間	日数	来館者数
2026.7.18～2026.8.31	39 日	657 人



展示の様子



展示「あいさつ」パネル

(3) 企画展「町田とお殿さま―江戸時代の領民と領主―」

江戸時代、市域の大部分が旗本の知行所（領地）であった歴史的特徴に注目し、領主であった旗本と領民（市域に住んでいた人びと）との関係について、時代的変遷をたどりながら紹介した。市域に残る領主とのやり取りを示す史料を展示しながら、両者の関係が支配と被支配という単純な関係ではなく、領主の江戸での生活や幕府の役人として役割に、知行所の領民たちが経済的にも、人的にも大きくかかわっていた点を意識した展示内容となった。こうした点を意識し、講演会やフィールドワークを企画した。

開催期間	日数	来館者数
前期：2025.10.4～11.9　　後期：2025.11.15～12.21	64 日	2,027 人



企画展「町田とお殿さま」の展示解説風景



企画展ポスター

(4)まちだ歴史講座「まち歴」

種類	講師	タイトル	開催日	会場	受講者数
FW	資料館職員	能ヶ谷・広袴を歩く	2025.5.11	能ヶ谷・広袴の史跡（寺社他）	20 人
WS	歴史資源担当・資料館職員	「親子でお仕事体験 学芸員になってみよう」	2025.8.2	自由民権資料館	8 人
座学	黒滝香奈氏（駒沢女子大学非常勤講師）	古文書講座「はじめての古文書講座」全 5 回	2025.9.24 ～ 11.9（午前）	国際版画美術館講堂	のべ 141 人
座学	黒滝香奈氏（駒沢女子大学非常勤講師）	古文書講座「村の古文書を読むー中級編ー」全 5 回	2025.9.24 ～ 11.9（午後）	国際版画美術館講堂	のべ 181 人
WS	歴史資源担当職員	「矢部八幡宮獅子舞を体験しよう」	2025.10.19	忠生市民センター	139 人
座学	資料館職員	「旗本知行割りにともなう分郷と村びと」	2025.10.25	国際版画美術館講堂	45 人
座学	山本暉久氏（昭和女子大学名誉教授）	「敷石住居址研究の 100 年」	2025.11.1	国際版画美術館講堂	57 人
FW	資料館職員	「市内の “お殿さま” 関係史跡をめぐる①」	2025.11.2	高ヶ坂・小川・金森・原町田方面	18 人
FW	資料館職員	「市内の “お殿さま” 関係史跡をめぐる②」	2025.11.30	成瀬方面	20 人
座学	野本禎司氏（開智国際大学教育学部准教授）	「旗本家臣と多摩地域の村役人たち」	2025.12.7	国際版画美術館講堂	63 人
座学	資料館職員	「北村美那の生涯」	2026.2.1	町田市民フォーラム	127 人
座学	資料館職員	「天野政立文書の世界」	2026.3.22	自由民権資料館	27 人

FW：フィールドワーク　　WS：ワークショップ



古文書講座の様子



「親子でお仕事体験学芸員に
なってみよう」の様子



「矢部獅子舞を体験しよう」
御幣作りワークショップ



「敷石住居址研究の 100 年」
講演会の様子



「市内の “お殿さま”関係史跡をめぐる①」
フィールドワークの様子

2. 町田市考古資料室

(1)概要

年末年始を除く、毎月第２、第４土曜、日曜、祝日（7、8 月は毎週土日、祝日）に展示コーナーのみを開室している。「縄文のまちだ」をテーマとし、縄文時代を中心に町田の代表的な考古資料を展示している。

年間開室日数は 73 日、来室者数は 435 人であった。

(2)イベント

2025 年 7 月 25 日と 8 月 20 日に、夏休み特別開室「ドキドキ！“縄文のまちだ”を学ぼう！」を行った。小中学生向けにワークシートを配布し、展示室で資料を見ながら取り組んでいただいた。展示室では学芸員が来室者の質問に答え、ワークシートの回答の確認を行うことで学びを深めてもらった。また、土器の破片や石器に触れられるコーナーを設置した。来室者数は両日あわせて 33 人であった。

2025 年 11 月 15 日、2026 年 3 月 29 日には特別開室「まっくうに会いにいこう！」を開催した。学芸員が一日在室し、来室者の質問に回答した。触れる土器・石器のコーナー、グッズや書籍の販売も行った。来室者数は両日合わせて 73 人であった。



土器に触れる体験



ワークシート確認の様子



展示室の様子（11 月 15 日）

3. 三輪の森ビジターセンター内郷土資料室

月曜日（祝日の場合は開室、翌日休室）、年末年始以外は開室している。三輪地域で使用されていたものを中心に、近代の生活用具を展示している。

年間開室日数は 308 日、来室者数は 443 人であった。



4. 町田デジタルミュージアム

町田市の持つ考古・歴史・民俗資料をデジタル化、町田の通史を概観できるデジタルアーカイブをインターネット上で公開、町田市の歴史情報を広く分かりやすく発信しているサイトである。利用者はいつでも、どこでも、無料で資料の閲覧ができる。

「町田デジタルミュージアム」の特長

① 時代ごとの年表、解説により、旧石器時代から現代までの町田の歴史をわかりやすく紹介している。
② 2,000 点以上の考古・歴史・民俗資料に関する画像が掲載され、そのうち 240 点は 3D を含む高精細画像である。
③ 代表的な近世の古民家、普段は内部を見学できない横穴墓を 3D パノラマビュー画像でその場にいるような感覚で見ることができる。

町田市考古資料室・自由民権資料館・三輪の森ビジターセンターの展示キャプション等に、町田デジタルミュージアムのサイトにつながる二次元コードを掲示し、資料をさらに詳しく見ることができるよう連携を図っている。

また、2025 年度には動画を閲覧できるコンテンツを追加し、公開を開始した。これまで YouTube にて掲載してきた町田市内の文化財及び歴史・考古・民俗資料に関連する動画について、町田デジタルミュージアムに集約し公開することで、授業や学習での利用のしやすさを向上することを目的としている。

【年間アクセス数】

年	アクセス数
2022	118,196
2023	141,081
2024	186,016
2025	261,377

【デジタルミュージアムはこちら】

5. 文化財の普及・活用

(1)まちだ縄文キャラクター「まっくう」



「まっくう」は、田端東遺跡（町田市小山町）から出土した町田市指定文化財「中空土偶頭部」をモデルに誕生したキャラクターである。町田（まちだ）の中空土偶（ちゅうくう）であることから、「まっくう」と名付けられた。
「まっくう」は町田市考古資料室をはじめ、市域の展示施設、小学校の出張歴史授業などでの案内役として活躍している。

【まっくうのモデル】



田端東遺跡出土「中空土偶頭部」

【プロフィール】

年齢：3400 歳くらい
性別：なし（妖精なので）
身長：変幻自在（頑張れば大きくなれるけれど疲れるからしない）
体重：空気と同じくらい
出身地：田端にあるストーンサークルの近く
性格：やさしいけれど、欲張りな人には意地悪になる
特技：動物や植物と話ができる
仕事：森に住むみんなを守ること



出張歴史授業の案内役



出張歴史授業のプリント



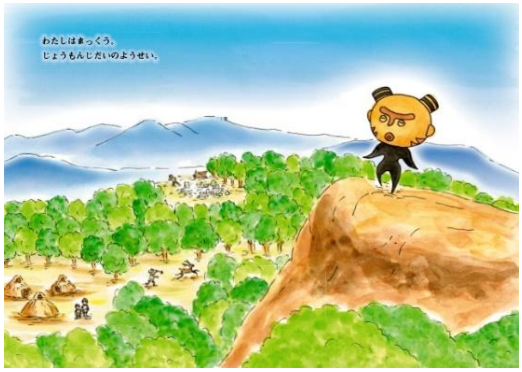
本町田遺跡ガイダンス施設
入口のまっくうの掲示



町田市考古資料室の
オブジェ

①絵本『まっくうの森』

「まっくう」と一緒に縄文時代の生活をやさしく学べる絵本で、市内の小学校と図書館で閲覧することができる。町田市立図書館利用券をお持ちの町田市内在住・在勤・在学の方は電子書籍サービスを利用して見ることができる。



絵本『まっくうの森』の一場面

②まっくう利用申請

歴史の普及に関連がある活動等であれば、事前に申請いただくことで、町田市民に限らず「まっくう」を使用することができる。

提供先	掲載等	目的・内容
株式会社ポートエモーション	ワークショップで利用する缶バッチデザイン	小田急百貨店町田店開催イベントの「ゆるキャラ缶バッチワークショップ～作って楽しむ町田市～」にて使用
株式会社中広	「小学生のためのお仕事ノート　町田市・八王子版」	町田市の魅力を紹介するページで掲載
株式会社中広	「中学生のためのお仕事ブック　町田市・八王子版」	町田市の魅力を紹介するページで掲載

③インスタグラム開設（2025 年 4 月 1 日）

【インスタグラムはこちら】

まちだ縄文キャラクターまっくう（町田市教育委員会生涯学習部生涯学習総務課歴史資源担当）公式のインスタグラムを開設した。町田市の歴史や文化財、遺跡、展示施設、講座、イベント情報などの情報発信をした。

アカウント名：@machida_history_official

④まっくうグッズの販売・頒布

市民や来訪者が町田の歴史・文化への興味を持ち、郷土への愛着を深めていただくきっかけとするため、「まっくう」オリジナルグッズを制作した。自由民権資料館でクリアファイルとステッカーの販売を開始した他、イベント等での配布を行った。





⑤「ミュージアムキャラクターアワード 2025」にエントリー

インターネットミュージアム事務局が運営する「ミュージアムキャラクターアワード」に「まっくう」が参加した。1281 票を獲得し、全 68 キャラクター中 19 位であった。

⑥まっくう給食

「まっくう」を通じて、市域の小中学生に「縄文のまちだ」に親しみと誇りを持ってもらうことを目的として、給食で「まっくう」をモチーフにしたものや縄文時代にちなんだメニューの提供を各小学校に協力依頼した。



「まっくう」トースト



「まっくう」が描かれた海苔のパッケージ





給食の様子

(2) 鶴川香山園（かごやま）アウトリーチ展示

2025 年 1 月にオープンした鶴川香山園は、敷地内に池泉回遊式庭園と書院造の建物を有する市立公園である。園内には能ヶ谷香山古墳群があり、これまでに古墳時代（6 世紀末～8 世紀初頭）の円墳 2 基と横穴墓 20 基が確認され、須恵器・直刀・耳環・ガラス製の小玉・水晶製の切子玉・メノウ製の勾玉などが出土している。

2025 年 4 月から、レストランとして活用されている主屋「瑞香殿（ずいこうでん）」の入口に展示ケースを配置し、能ヶ谷香山古墳群など周辺の遺跡から発見されたものを中心に、考古資料の展示を始めた。



能ヶ谷香山古墳群出土資料
展示の様子



鶴川遺跡群Ｊ地点出土資料
展示の様子

(3)パネル展「成瀬を見守る天狗型道祖神―地域の歴史を未来へつなぐ文化財」

町田市教育委員会は 2025 年 3 月、成瀬地区にある 3 基の天狗型道祖神を市登録有形民俗文化財に登録した。1700 年代に造立された全国的にも珍しい天狗型の道祖神が同地区に集中している状況は、地域の歴史と文化を理解する上で非常に貴重である。これら文化財の魅力を伝えるパネル展を、成瀬コミュニティセンターで 2025 年 4 月 28 日から 5 月 9 日まで実施した。また、より多くの方に知っていただくため、南市民センターで 7 月 7 日から 8 月 8 日まで、成瀬駅前市民センターで 8 月 12 日から 9 月 12 日まで、ミニパネル展を開催した。



展示の様子



ポスター

(4)東京文化財ウィーク 2025

国の「文化財保護強調週間」(2025 年 11 月 1 日～7 日)に合わせて、都内各地にある文化財を一斉に公開する「東京文化財ウィーク 2025」に参加した。

(5)「手仕事の技　小野路のメカイ作り再発見」展

2026 年 1 月 19 日から 30 日までの 11 日間、町田市庁舎 1 階イベントスタジオにて、町田市域の篠竹を用いた郷土の生業のひとつであるメカイ（目籠）製作について、その歴史と現在を紹介する展覧会を開催した。小野路のめかい 篠・竹細工伝統技法保存会の協力を得て実施した本展には、期間中に延べ 1,168 人が来場した。関連イベントとして、会場内での担当学芸員による展示解説会を 1 月 25 日、1 月 28 日に開催し、延べ 97 人の参加者を得た。

また、2026 年 1 月 9 日から 2 月 11 日にかけて市立木曽山崎図書館に展示関連図書コーナーを設置した。本展の開催にあわせて展覧会解説冊子およびメカイ製作動画を制作し、内容の周知と記録を図った。





市役所 1 階 イベントスタジオでの展示の様子





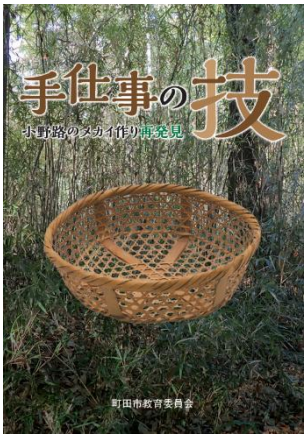
市役所１階　イベントスタジオでの展示の様子



学芸員による展示解説



展示関連図書コーナー
木曽山崎図書館



解説冊子表紙

(6) 文化財防火デー

2026 年 1 月 26 日の文化財防火デーに、薬師池公園内にある国指定重要文化財「旧永井家住宅」にて、町田消防署と町田市教育委員会、公園緑地課、防災課が合同で消防訓練を実施した。旧永井家住宅周辺の消防用設備の使用方法について確認を行うとともに、放水銃を使用して実際に旧永井家住宅への放水訓練も実施した。




(7)町田市×相模原市「まちの歴史、さがしてみました～まちさが考古学講座～vol.2」

2024 年度に引き続き、町田市教育委員会生涯学習総務課、相模原市教育員会文化財課、相模原市立博物館共催の事業として開催した。

2026 年 2 月 21 日、町田市生涯学習センター 7 階ホールにて、両市の間に流れる境川沿いの旧石器時代、縄文時代について学芸員 5 名が考古学的成果に基づいた発表を行った。「旧石器時代ってどんな時代」、「まちさがの旧石器時代」、「縄文時代ってどんな時代」「境川両岸における縄文時代中期の土器」「境川両岸の縄文時代集落」「まちさがの土偶」をテーマとした。受講者数は 115 人であった。





(8)「Future Park Lab(フューチャーパークラボ) 2026　Supring」出展

2026 年 3 月 7 日に芹ヶ谷公園で開催された「Future Park Lab(フューチャーパークラボ) 2026　Supring」に出展し、まちだ縄文キャラクター「まっくう」のお面作りワークショップを実施した。ブースには 75 名が来訪し、お面作りには 41 名が参加した。



(9)学習動画「縄文のまちだ～町田の遺跡を見てみよう～」公開

児童・生徒が縄文時代の町田の様子や、地元の歴史や文化についての理解を深め、地域への愛着をはぐくむきっかけになることを目的に制作し、町田デジタルミュージアムで 2026 年 3 月 27 日、YouTube「町田市公式動画チャンネル」で 3 月 31 日に公開を開始した。動画では、町田市の代表的な縄文時代の遺跡である、本町田遺跡・高ヶ坂石器時代遺跡・田端環状積石遺構について紹介している。

6. 出張歴史授業

学校名	実施日	コース	学年	人数
山崎中学校学びの多様化学校分教室ゆめのき	2025.6.3	町田の歴史（考古）	1～3 年生	生徒 12 人
小山小学校	2025.6.6、6.9	縄文時代を知る	6 年生	児童 136 人
山崎中学校学びの多様化学校分教室ゆめのき	2025.6.11	昔の地図からまちの歴史を知る	1～3 年生	生徒 12 人
本町田ひなた小学校	2025.6.20	縄文時代を知る	6 年生	児童 71 人
藤の台小学校	2025.7.16	縄文時代を知る	1～6 年生(藤の学級)	児童 23 人
神奈川県立麻溝高校	2025.8.1	自由民権資料館見学	1～3 年生	生徒 6 人
小川小学校	2025.9.11	町田と養蚕	3 年生	児童 63 人
鶴川第三小学校	2025.9.18	町田と養蚕	3 年生	児童 52 人
本町田ひなた小学校	2025.9.22	町田と養蚕	3 年生	児童 92 人
忠生小学校	2025.9.24	町田と養蚕	3 年生	児童 74 人
大戸小学校	2025.9.25	町田と養蚕	3 年生	児童 10 人
町田第四小学校	2025.9.29	町田と養蚕	3 年生	児童 94 人
成瀬小学校	2025.10.7	町田と養蚕	3 年生	児童 107 人
山崎小学校	2026.1.27	町田の歴史	3 年生	児童 53 人
成瀬小学校	2026.1.27	昔の地図からまちの歴史を知る	3 年生	児童 114 人
鶴川第三小学校	2026.2.13	昔の道具を使ってみよう	3 年生	児童 52 人
町田第一小学校	2026.3.4	昔の道具を使ってみよう	3 年生	児童 133 人



「昔の地図からまちの歴史を知る」授業の様子



「町田と養蚕」授業の様子

7. 講師等の派遣

派遣日	依頼・主催者	内容	実施場所	人数
2025.5.20	神奈川県立歴史博物館	「「民権家」って、どんな人？―自由民権運動の担い手の実像に迫る―」	かながわ県民センター	38 人
2025.6.15	多摩地域史研究会	（大会テーマ「幕末・明治期の多摩」）「明治前期の教育と学びの模索―学校、結社、演説・討論―」	たましんリスルホール（立川市市民会館）5F 第 1 会議室	約 30 人
2025.8.22	歴史を楽しみ歩く会	「武士になった百姓たち―領民と旗本領主―」	町田市民文学館ことばらんど	50 人
2025.10.11	日本石仏協会	「天狗像が彫られた道祖神塔―町田市登録有形民俗文化財「成瀬の天狗型道祖神（3 基）」の紹介―」	明治大学駿河台校舎研究棟 4 階第 2 会議室	24 人
2025.10.26	くにたち郷土文化館	「多摩の自由民権運動と本田家」	くにたち郷土文化館	62 人
2025.11.7	明るい選挙推進委員	「神奈川県会議員選挙事始め」	町田市役所	40 人
2026.2.2	多摩区文化協会	「多摩区の歴史 明治の出来事」	多摩市民館　第1会議室	30 人

8. 出版物の刊行

書名	発行機関	発行年月日	発行部数
町田市文化財年報　2024 年度	町田市教育委員会	2025.9	200 部
2025 年度企画展　町田とお殿さま―江戸時代の領民と領主―展示ガイドブック	町田市教育委員会	2025.10.4	450 部
手仕事の技―小野路のメカイ作り再発見― 展示解説冊子	町田市教育委員会生涯学習部生涯学習総務課歴史資源担当	2026.1.19	800 部
武相近代資料集 2-1「天野政立文書」1	町田市教育委員会	2026.3.31	300 部

9. 資料調査対応

調査者	目的	資料名	調査日
個人	調査・研究	図師町・佐藤家文書　3 点	2025.4.8
個人	調査・研究	原町田・武藤家文書　1 点	2025.4.13
個人	調査・研究	図師町・佐藤家文書　1 点	2025.4.26
個人	調査・研究	浪江虔文庫　5 点	2025.4.30
伊藤建築設計事務所	調査・研究	野津田町旧公図、鶴川村全図　計 2 点	2025.5.20
個人	調査・研究	原町田・武藤家文書　10 点 図師町・佐藤家文書　11 点 館蔵史料　1 点　計 22 点	2025.6.14
個人	調査・研究	野津田町・村野家文書　1 点	2025.6.29
個人	調査・研究	野津田町・河井家文書　17 点	2025.7.5

個人	調査・研究	忠生遺跡 A 地区大珠等　5 点 忠生遺跡 B 地区玉類　4 点	2025.7.31
個人	調査・研究	常盤・薄井家文書　1 点	2025.8.6
個人	調査・研究	芝居台本 10 点、芝居パンフレット 2 点	2025.9.30
個人	調査・研究	藤の台遺跡出土縄文土器　1 点	2025.11.4
個人	調査・研究・見学	高ヶ坂石器時代遺跡（牢場遺跡・稲荷山遺跡、八幡平遺跡）	2025.12.16
個人	調査・研究	下小山田町・若林家文書　2 点	2026.1.20
個人	調査・研究	藤の台遺跡出土縄文土器　19 点 田中谷戸遺跡出土縄文土器　9 点	2026.2.9
個人	調査・研究	原町田・武藤家文書　2 点	2026.2.22
個人	調査・研究	原町田・武藤家文書　2 点	2026.2.13
個人	調査・研究	下小山田町・若林家文書　2 点	2026.2.17
個人	調査・研究	下小山田町・若林家文書　2 点	2026.2.18
個人	調査・研究	木曽森野遺跡第Ⅱ文化層出土石器約 2500 点	2026.3.16～17

10. 資料の貸出

貸出先	展示会名	貸出資料	展示期間
成蹊学園史料館	「中村春二をめぐる人びと」	新婚時代の透谷と美那（写真データ）	2025.8.2～11.23
町田市立小川小学校	1 年生国語科授業内における学習	糸車	2025.12.4～12.18
東京都立埋蔵文化財調査センター	「入門！多摩の遺跡たち」	台付浅鉢、深鉢、皿状浅鉢、深鉢、鉢、石刀、耳栓レプリカ（なすな原遺跡）計 21 点	2026.3.20～2027.3.7

11. 資料の写真掲載等

提供先	出版物等	提供資料	発行予定
すみだ郷土文化資料館	『すみだ郷土文化資料館年報・紀要』第 11 号	炭火アイロン（資料番号 B07-2556）	2025.4
株式会社ザ・ワークス	日本テレビ「メシドラ～兼近＆真之介のグルメドライブ」	小野路町・細野家文書 G-020 家族写真か（唐箕での作業風景）、G-061 背負い籠の女性１名、G-113 小野路の風景	2025.5.11
一般社団法人町田市観光コンベンション協会	町田市観光マップ	高ヶ坂石器時代遺跡、田端環状積石遺構、町田市考古資料室	2025.8
ぴあ株式会社コンテンツ・コミュニケーション事業局	『古代ロマンを満喫ときめく歴史さんぽ関東版』	現在の様子、石棒・玉類・大珠（田端環状積石遺構）、現在の様子・４号墓内部・圭頭大刀（西谷戸横穴墓群）	2025.9.30
株式会社平凡社	『決定版　縄文美術館』	深鉢形土器・土器・石器・石製品・大珠・土偶（忠生遺跡）、土器（小野路富士塚遺跡）、勾玉・玉（田端遺跡）、クルミ形土器（木曽中学校遺跡）	2025.12
株式会社エスピーボーン	テレビ朝日「火曜の良純孝太郎」	原町田二六の市、原町田駅、原町田駅２、新原町田駅、駆け足通り、昭和 20 年代の街並み、横浜線汽車（『増補町田の歴史をたどる』掲載）	2026.1.13
株式会社イースト・フィルム	NHK「時空鉄道～あの頃に途中下車～」	新原町田駅、原町田二六の市、東急オープン（『増補町田の歴史をたどる』掲載）	2026.1.31
個人	『佐久考古通信』123 号・佐久考古学会発行	忠生遺跡 D 地点出土状況写真、忠生遺跡 D 地点出土遺物写真、計６点	2026.1
株式会社雄山閣	『1500 年続いたムラデーノタメ遺跡』	隆起線文土器（なすな原遺跡）	2026.2.25
株式会社文学通信	「研究のひとしずく」『REKIHAKU』特集・近代の展示をひらく、国立歴史民俗博物館編・発行	忠生遺跡 D 地区出土状況写真、注口付壺・片口土器（忠生遺跡）	2026.3
株式会社第一学習社	高等学校地理歴史科“歴史総合”副教材『ダイアローグ歴史総合 新版（仮称）』	「自由」の盃（複製）	2026.4
個人	『安蒜政雄先生傘寿記念論文集』	石製品１点（田中谷戸遺跡）	2026.6

12. 取材・メディア撮影等

提供先	番組名・目的等	内容	撮影日
読売新聞社	TOKYO たてもの探訪	自由民権資料館の紹介	2025.10.11
株式会社エスピーボーン	テレビ朝日「火曜の良純孝太郎」	原町田の案内	2025.11.26
アサココ株式会社	「asacoco　多摩地域のタウン紙」	自由民権資料館の紹介	2026.2.5
株式会社ディレクションズ	NHK　E テレ「The Wakey Show」	透かし彫り土製耳飾り 12 点（なすな原遺跡）、耳飾り 1 点（鶴川遺跡 J 地点）、耳飾り 2 点（なすな原遺跡）、玦状耳飾り 1 点（野津田上の原遺跡）、勾玉 1 点（田端環状積石遺構）、玉 1 点（田端環状積石遺構）、深鉢形土器 1 点（木曽中学校遺跡）、深鉢形土器 1 点（鶴川遺跡 J 地点）、深鉢形土器 1 点（木曽森野南遺跡）、深鉢形土器 1 点（木曽森野遺跡）、埦形土器 1 点（野津田上の原遺跡）、深鉢形土器 1 点（忠生遺跡 B 地区）	2026.3.5

13. 学校資料の整理・移管

町田市教育委員会では、少子化と学校施設の老朽化という問題に対応しながら、未来の子どもたちにより良い教育環境をつくるために新たな学校づくりを進めている。校舎の統合にあたり、2025 年度は、鶴川第三小学校・鶴川第四小学校・木曽境川小学校の３校について、各校が地域から寄贈を受けるなどした資料等の評価・選別を行い、町田市域の歴史および教育史にとって重要と判断される資料の移管を受けた。

【移管資料】

学校名	分野	資料名	件数
鶴川第三小学校	考古	縄文土器片　ほか	4 件
鶴川第四小学校	民俗	昭五式水筒、液用枡ほか	8 件
木曽境川小学校	考古	土器片、石器ほか	3 件
	歴史	ネガフィルム	1 件
	民俗	学校机	1 件

Ⅲ. 古民家保存事業

1. 国指定重要文化財　旧永井家住宅耐震診断

旧永井家住宅は、もとは町田市小野路町にあった農家で、17 世紀後半に建築され、1975 年に薬師池公園内へ移築復原された。典型的な多摩丘陵地の農村家屋であり、多摩地方では最古級の民家に属する、当時の生活を知る上でも重要な古民家である。

2019 年度の耐震予備診断の結果を受けて、2025 年度に構造調査や地盤調査等を行い、それらに基づく、耐震基礎診断を実施した。2026 年度以降は、耐震基礎診断の結果を基に耐震補強計画案を策定し、2027 年度以降に耐震対策および保存修理に向け、設計・工事を実施する予定である。



ボーリング調査

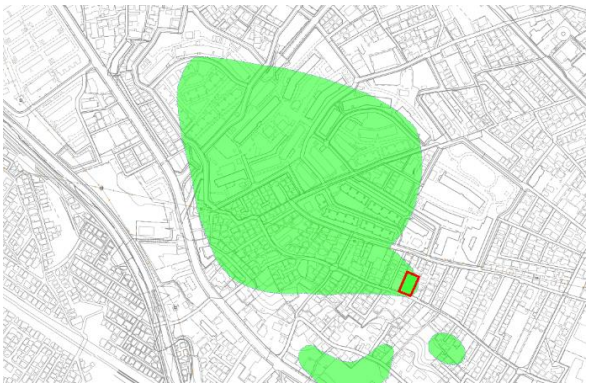


文化庁調査官視察

Ⅳ. 埋蔵文化財保存事業

1. 試掘調査

(1)木曽森野・木曽森野南・森野 6 丁目遺跡（町田市№617 遺跡）



所在地　　森野四丁目 117 番 1 外
調査原因　　宅地造成
調査期間　　2025 年 5 月 1 日
調査面積　　2×4m×2 ヶ所＝16 ㎡
支援業者　　株式会社　四門文化財
検出遺構　　土坑 1 基
検出遺物　　なし

調査概要

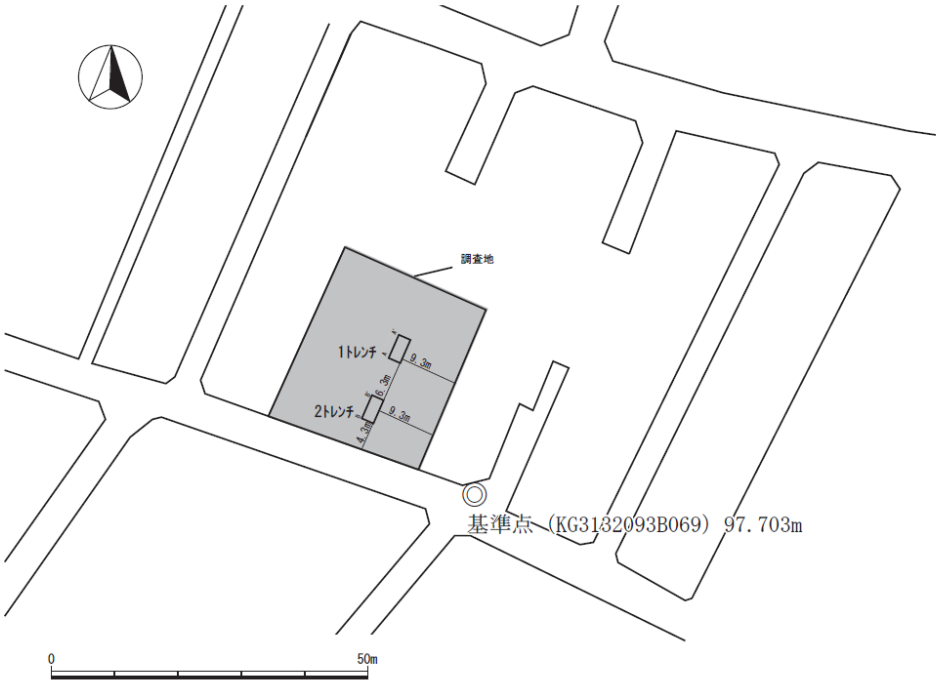
調査地点は、木曽森野・木曽森野南・森野 6 丁目遺跡の東端にあたる。試掘坑は道路予定地に 2 ヶ所設定した。地表面から約 1m（ローム層上面）まで掘削した。時期不明の土坑が出土した。遺物は確認されなかった。



1 トレンチ検出全景

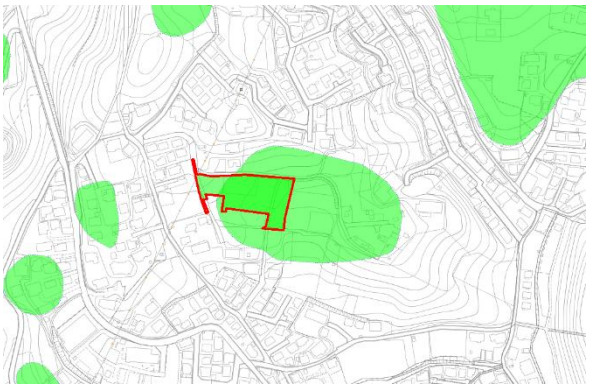


重機掘削状況



トレンチ配置図

(2)町田市№482 遺跡



所在地　　山崎町字七号 1073 番 7 外
調査原因　　宅地造成
調査期間　　2025 年 12 月 3～5 日
調査面積　　2×4m×4 ヶ所
　　2×2m×2 ヶ所=40 ㎡
支援業者　　株式会社　四門文化財
検出遺構　　土坑 2 基
検出遺物　　縄文土器、須恵器、土師器
　　鉄滓

調査概要

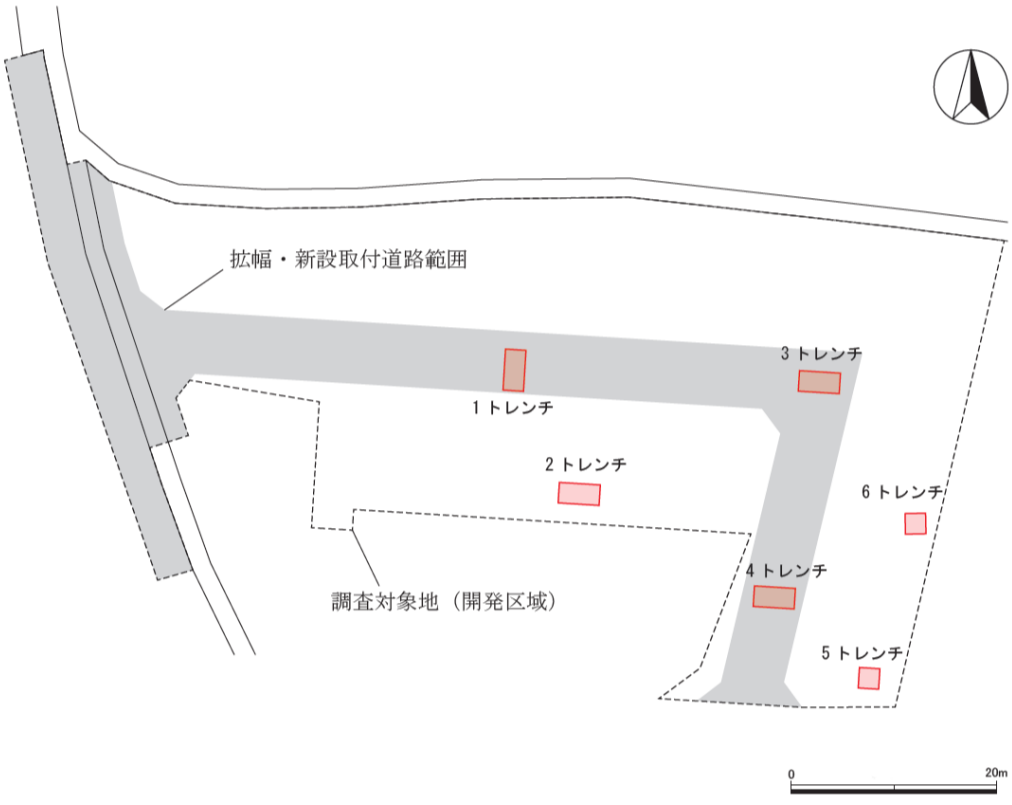
鶴見川右岸の丘陵上部に立地し、標高約 104～108m の南側緩斜面にあたる。試掘坑は道路予定地に 3 ヶ所、擁壁建設予定地に 3 ヶ所設定した。3 トレンチ、5 トレンチで土坑を 1 基ずつ確認した。1 トレンチから縄文土器、須恵器、土師器、鉄滓が出土した。



3 トレンチ土坑　土層断面



出土遺物



トレンチ配置図

(3)町田市№970 遺跡



所在地　　常盤町字二十三号 3158 番 1 外
調査原因　　宅地造成
調査期間　　2026 年 3 月 4～6 日
調査面積　　2×4m×5 ヶ所=40 ㎡
支援業者　　株式会社　四門文化財
検出遺構　　土坑 1 基
検出遺物　　縄文土器、石器

調査概要

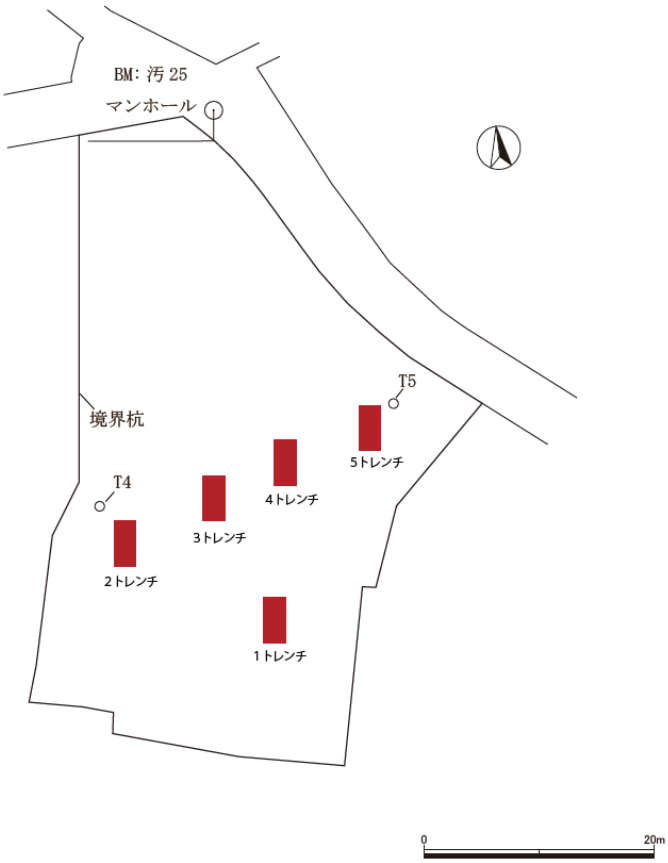
境川左岸の丘陵上に立地し、標高は約 113～115m である。試掘坑は道路予定地と切土予定地に設定した。5 トレンチから土坑と考えられる遺構が検出された。5 トレンチでは、堆積土上層より縄文土器・石器が出土した。



5 トレンチ土層断面



出土遺物



トレンチ配置図

(4)相原清水寺東遺跡（町田市№42 遺跡）



所在地　　相原町字坂下 473-1 の一部
調査原因　　宅地造成
調査期間　　2026 年 3 月 24、25、27 日
調査面積　　2×4m×3 ヶ所=24 ㎡
支援業者　　株式会社　四門文化財
検出遺構　　土坑 2 基、ピット 7 基
検出遺物　　縄文土器、石器
　　黒曜石製剥片

調査概要

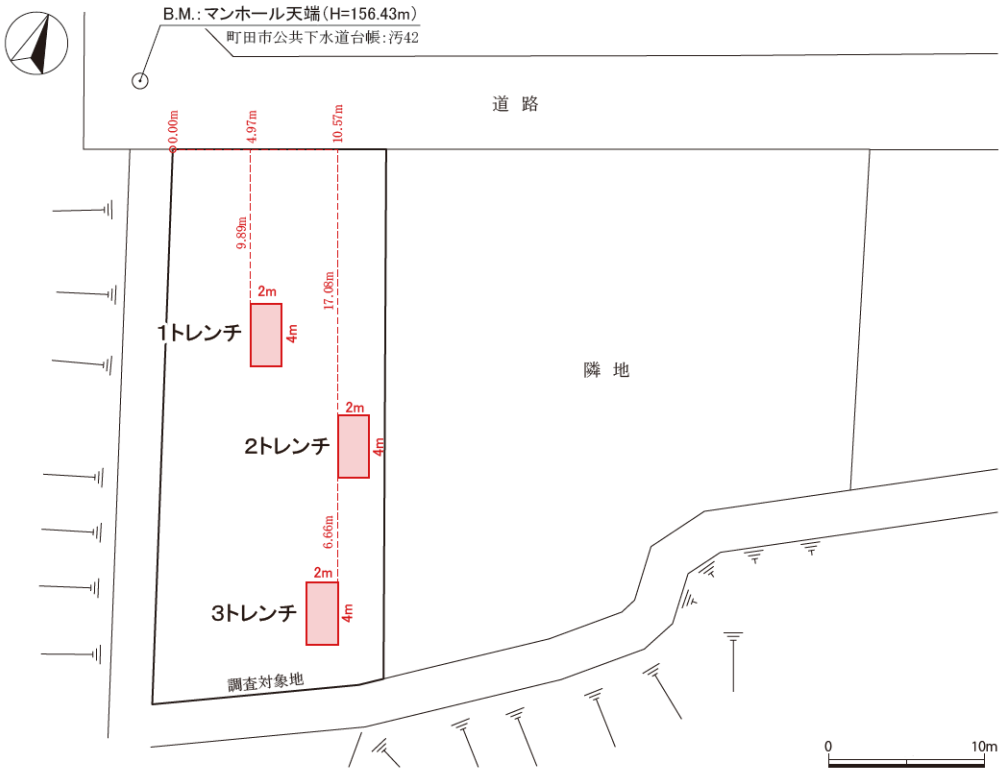
調査地点は、相原清水寺東遺跡の南側にあたり、舌状台地の縁辺に立地する。2 トレンチでピット 2 基、3 トレンチで土坑 2 基、ピット 5 基が検出されている。いずれも縄文時代の遺構と考えられる。3 トレンチの土坑 1 基からは、4 個体以上の縄文時代中期の土器が出土している。



3 トレンチ土坑　検出状況



3 トレンチ土坑　出土遺物



トレンチ配置図

(5)相原清水寺東遺跡（町田市№42 遺跡）



所在地　　相原町字坂下 474 番 1 の一部外
調査原因　　宅地造成
調査期間　　2026 年 3 月 24、27、30 日
調査面積　　2×4m×2 ヶ所
　　2×2m×1 ヶ所=20 ㎡
支援業者　　株式会社　四門文化財
検出遺構　　土坑 6 基、ピット 12 基
検出遺物　　縄文土器、石器

調査概要

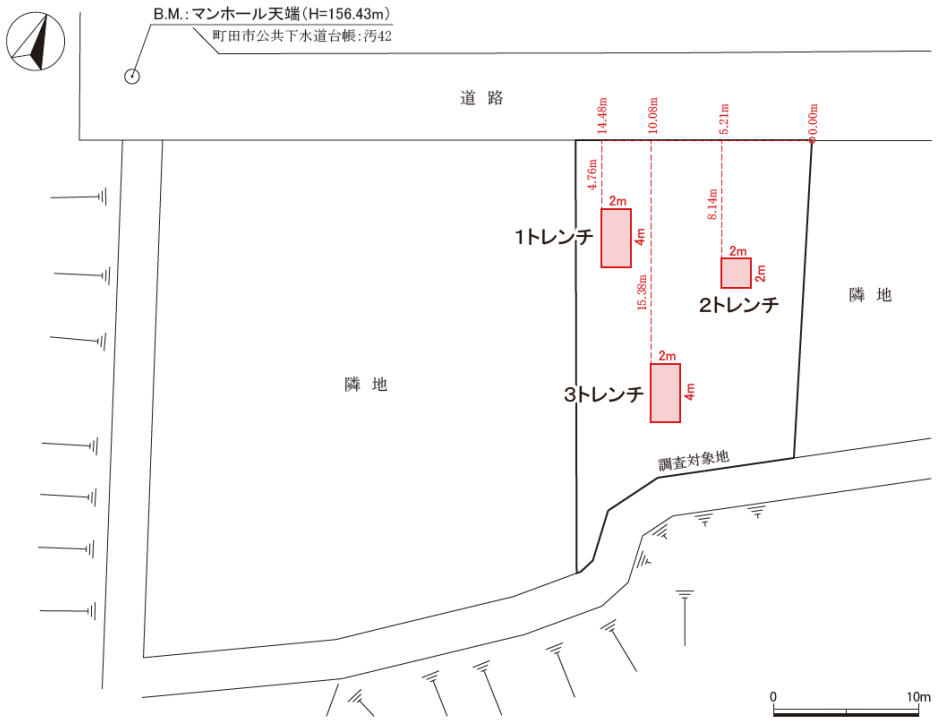
調査地点は、相原清水寺東遺跡の南側にあたり、舌状台地の縁辺に立地する。1 トレンチで土坑 1 基、2 トレンチのほぼ全範囲に渡って竪穴状遺構が検出された。1 トレンチから土坑 2 基、ピット 3 基、2 トレンチから土坑 4 基、ピット 4 基、3 トレンチからピット 5 基が検出された。いずれも縄文時代の遺構と考えられる。縄文土器は、勝坂式、堀之内式が中心である。



2 トレンチ検出全景



1 トレンチ出土遺物



トレンチ配置図

町田市文化財年報　2025 年度

発　行　日　　2026 年（令和 8 年）　9 月
編　　集　　町田市教育委員会生涯学習部生涯学習総務課
　　〒194-8520　東京都町田市森野 2-2-22
　　電話　042-724-2554
発　　行　　町田市教育委員会
刊行物番号　　26－26
印　　刷　　庁内

この冊子は 200 部作成し、1 部あたりの単価は 715 円です（職員人件費を含みます）。